

長期ケアの質指標 (VENUS 指標)

-Visualizing Effectiveness of Nursing and Long-term Care-

評価ガイド

東京大学大学院

健康科学・看護学専攻

高齢者在宅長期ケア看護学分野

長期ケアの質指標（VENUS 指標）の目指すもの

多くの先進国において高齢化が進み、慢性疾患や身体・認知面の障害を抱えながら生活する高齢者がさらに増加することが予想されています。そのような状況の中、高齢者に質の高いケアを提供するための医療・介護システムの構築が重要な課題となっています。

質の高いケアを提供するためには、ケアの質を客観的に評価することが大切になります。そこで、東京大学大学院高齢者在宅長期ケア看護学分野では、高齢者長期ケアの質を客観的に評価できる長期ケアの質指標 (Visualizing Effectiveness of Nursing and Long-term Care :VENUS 指標)を開発しました。

VENUS 指標では、利用者に実施されているアセスメントやケアにあたる**プロセス**と、利用者の心身の状態などにあたる**アウトカム**を設定しています。

VENUS 指標の活用により、長期ケアの質を包括的に評価することが可能となり、ケアの質の改善が期待できます。

さらに、療養場所を問わず、医療・介護従事者のシームレスなケアの評価につながることも期待できます。

高齢者長期ケア現場におけるケアの可視化と評価の方法の確立により、日本のみならず日本に続いて高齢化社会を迎える各国に対しても、ケアの質向上に寄与できる有益な取り組みとなることを目指しています。



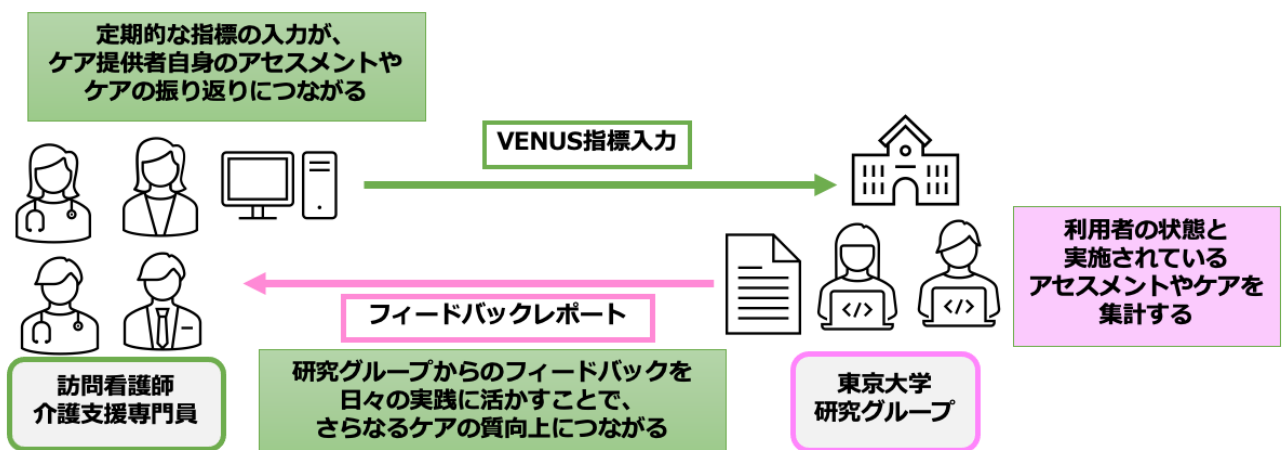
ケア現場における VENUS 指標活用の目的とメリット

VENUS 指標の目指すもの

利用者の状態と提供されたケア内容を分析することで、ケアの効果を可視化し、ケアの質向上の取り組みに生かすことを目指します。

VENUS 指標を活用するメリット

- ① ケア提供者自身が実践するケアを可視化することにより、包括的な視点での実践の振り返りになります。
- ② 包括的な視点に関する新人教育に活用できます。



VENUS 指標の内容

- VENUS 指標は高齢者への長期ケアを包括的に捉えるために、ゴードンの機能的健康パターン*をもとに、**8つのドメインと19の項目**で構成されています。
- それぞれの項目に、**利用者の状態であるアウトカム項目**と、**利用者に行われているアセスメントとケアのプロセス項目**についての設問があります。

ドメイン	項目
1.尊厳	1)社会的交流の確保
	2)希望する生き方の実現
	3)希望するケアの実現
	4)活動制限の撤廃
2.疾病	5)疾患悪化予防
	6)感染症（尿路）予防
	7)感染症（呼吸器）予防
	8)褥瘡予防
	9)呼吸困難への対処
	10)疼痛への対処
3.栄養	11)栄養状態の保持
	12)脱水の予防
4.排泄	13)排泄活動の維持
5.活動	14)転倒転落による外傷の予防
	15)日常的な活動の維持
	16)寝床以外での活動の維持
6.睡眠	17)生活に支障ない睡眠の確保
7.感情	18)認知機能低下による生活障がい の最小化
8.家族	19)家族のウェルビーイングの追及

それぞれの項目で、

① アウトカム

②アセスメント

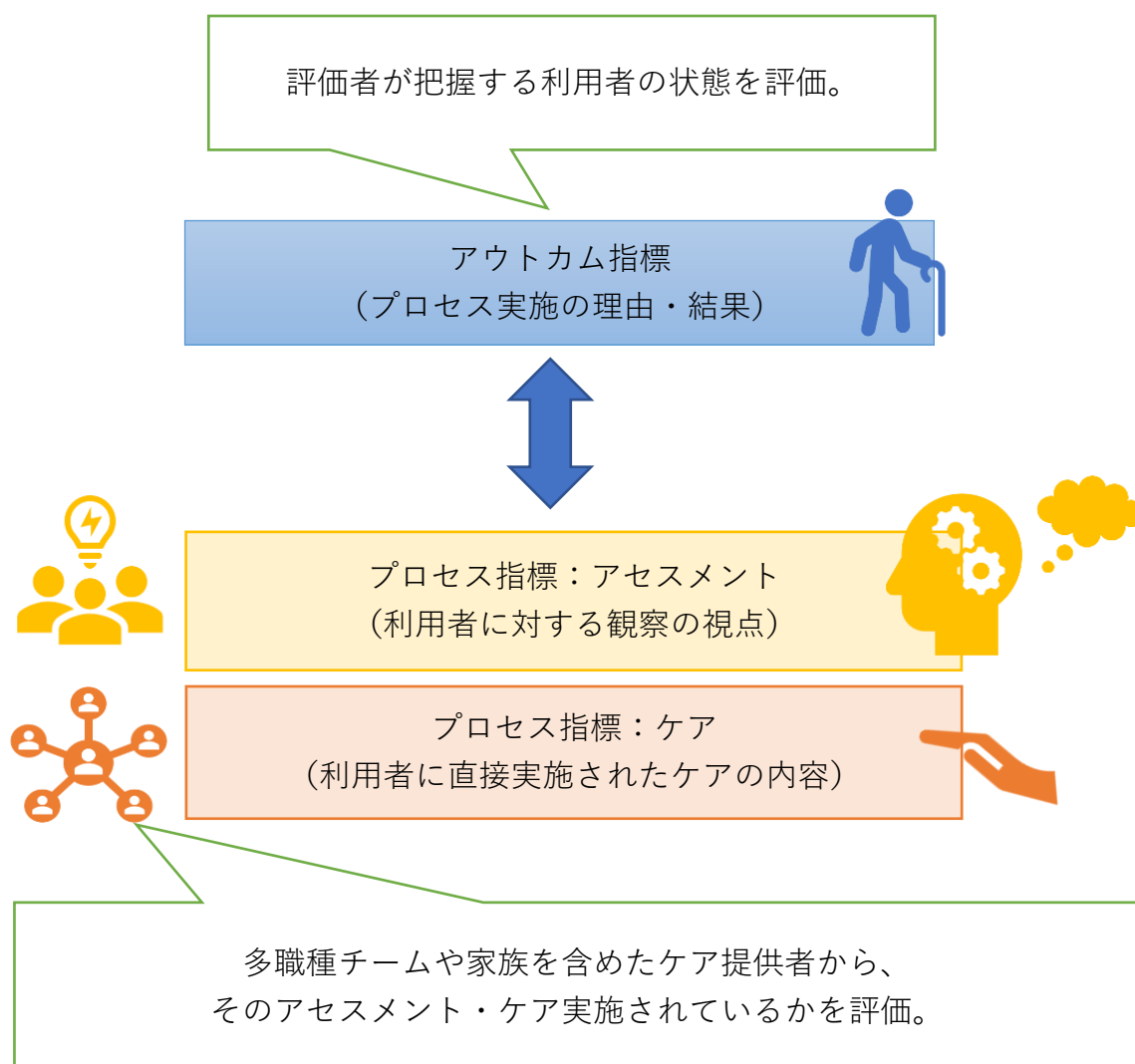
③ケア

についての設問を
設定しています。

*ゴードン看護診断マニュアル 機能的健康パターンに基づく看護診断 第11版,マージョリ・ゴードン,看護アセスメント研究

アウトカム指標とプロセス指標について

- 各項目のアウトカムにおける望ましくない状態を予防する・もしくは、改善するためのプロセス（アセスメントとケア）が紐づいて設定されています。
- **アウトカム指標**では、利用者の状態を客観的に評価し回答をしてください。
- **プロセス指標**の評価は、**評価者がアセスメントやケアを実施したか、という視点だけでなく、他職種や家族なども含め、チームにおいてアセスメントやケアが実施されているか**、という視点を持つことが重要となります。そのため、**（実施者は問わない）**の条件を設定しています。把握している範囲で回答をしてください。



VENUS 指標の回答方法

1. アウトカム項目

- アウトカム項目は**利用者の状態**を指しており、**望ましくない状態（症状の発生）の有無**を回答します。
- 各項目の設問の最初に、アウトカムについての問いがあります。
- すべての質問に、〇〇日以内にという期間の条件がありますその期間における利用者の状態について回答してください。

- 全ての質問に「わからない」の選択肢があります。
- 設問に関する利用者の状態を把握していない場合や、利用者や家族から把握することができず、回答が難しい場合は「わからない」を選択してください。

例：「希望する生き方の実現」のアウトカムについて

Domain 1. 尊厳の追求 項目2)希望する生き方の実現		
高齢者が生きがい（生きるはりあい、生きていてよかったと思えるようなこと）を持って生活できているかどうかは、その人なりに健康で活動的な生活を送ることに影響します。		
2. 利用者の希望する生き方の実現について、お聞きします。		
アウトカム項目	1) 過去30日間に、利用者は、今の状況において可能な範囲で、自分の希望する生き方を実現できていましたか	0. かなりできていた 1. できている部分もあった 2. 全くできていなかった 3. わからない

「できる限り自宅で自分のペースで過ごしたい」と希望しているのを30日以内に確認し、現在そのように生活ができている。

希望する生き方を実現できているかどうか、本人に聞いたけど「そんなことわからない」と言われ評価でき

2. プロセス項目

- プロセス項目は、各項目のアウトカムにつながるアセスメントとケアが、利用者に実施されているかを回答します。
- アセスメントやケアは、他職種や家族を含めたケア提供者によって行われたため、(実施者は問わない)の条件があります。
- すべての質問に、〇〇日以内という期間の条件があります。その期間内での実施状況について回答してください。

■ アセスメント項目

利用者に対し設問項目のアセスメントがされているか、を確認しています。

■ アセスメント項目の回答について

- 回答者が、他職種や家族など他者からの情報をもとに利用者の状態を評価した場合はアセスメントを実施したものとして「はい」と回答します。
- 他職種も含め、誰もアセスメントを実施していない場合は「いいえ」と回答します。
- 他職種がアセスメントを実施したかどうかわからない場合は、「わからない」と回答します。

例：「希望する生き方の実現」のプロセス（アセスメント）について

プロセス項目 アセスメント	2) 利用者の希望する生き方について、過去30日間に以下のアセスメントをしましたか（実施者は問わない）			
	生活についての自己決定の程度	はい	いいえ	わからない
	楽しみにしていること	はい	いいえ	わからない
	今まで続けていた日常生活での習慣	はい	いいえ	わからない
	老いや死に関する不安	はい	いいえ	わからない

30 日以内に、

- ・楽しみにしていることはあるか聞いたけど、利用者が明確に答えられなかった。

⇒「はい」（アセスメントを実施した）

- ・利用者が孫に会うことを楽しみにしていることを家族から聞いた。

⇒「はい」（アセスメントを実施した）

- ・30 日以内に、回答者自身も楽しみがあるかどうか評価しておらず、他のサービス利用も無い。

⇒「いいえ」に回答。

- ・30 日以内に回答者は評価しておらず、他職種が評価したかどうかわからない。

⇒「わからない」に回答

■ ケア項目

利用者は設問項目のケアを受けているか、を確認しています。

■ ケア項目の回答について

- 他職種または家族がそのケアを実施していることを把握していたら「はい」と回答してください。
- 他職種や家族も含め、誰もそのケアを実施していなかったら「いいえ」と回答します。
- 他職種や家族がそのケアを実施しているか否かを把握できていない場合は、「わからない」に回答してください。

例：「希望する生き方の実現」のプロセス（ケア）について

プロセス項目 ケア	3) 利用者は、希望する生き方を実現するために、過去30日間に以下のケアを受けましたか（実施者は問わない）			
	利用者の意思の探索と意思形成のための支援	はい	いいえ	わからない
	利用者の声に出せない不安や苦しみの代弁	はい	いいえ	わからない
	介護専門職、医師などのチームメンバーにおける利用者の意思の共有	はい	いいえ	わからない
	利用者だけで実現できないことに対する公的サービスの調整	はい	いいえ	わからない
	利用者の友人や近隣住民を巻き込んだ支援体制の構築	はい	いいえ	わからない
	利用者の意向の再確認	はい	いいえ	わからない

・ 30 日以内に、今後体調が悪くなった場合は訪問診療を使ってできる限り自宅で過ごしたいという希望を再確認した。
⇒「はい」（ケア[利用者の意向の再確認]を実施した。）

・ 30 日以内に、他職種を含め誰も意向の再確認を行っていない。
⇒「いいえ」に回答

・ 30 日以内に、他職種が意向を再確認したか把握していない。
⇒「わからない」に回答